

3 流域の社会状況

3-1 土地利用

流域のほとんどは山地で占められている。

沿川に広がる平地は農地として利用されており、古くから秋田県有数の穀倉地帯となっている。

下流部の本荘平野には、本荘・由利地方の中核都市である本荘市が広がり、社会・文化・経済の中心地となっている。

流域の土地利用状況についてみると、山地等が約 88%、水田や畑地等の農地が約 11%、宅地等の市街地が約 1%である。

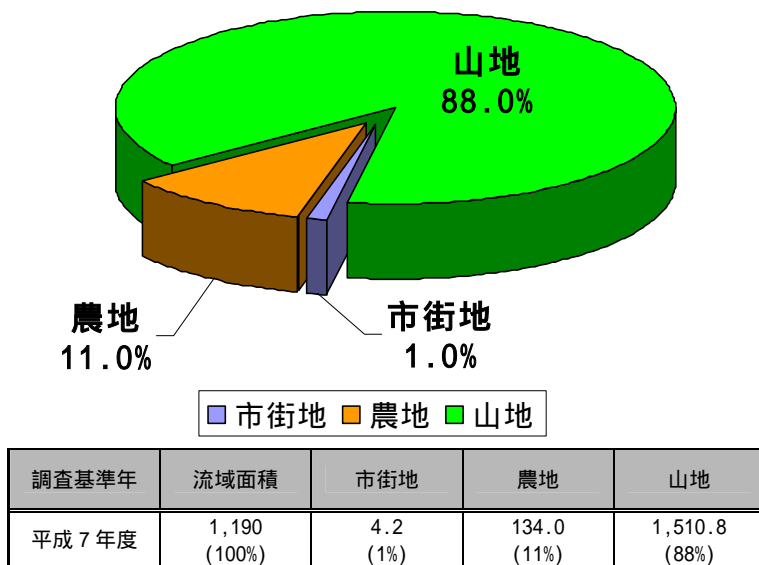


図 3-1 子吉川流域の土地利用面積

出典：「河川現況調査(調査基準年：平成7年度末)」

3-2 人口

子吉川流域の人口は、そのほぼ半分が子吉川の下流に位置する本荘市に集中している。

子吉川流域の総人口が昭和50年をピークに減少傾向にあるのに対し、本荘市では依然として増加傾向にあり、本荘市への人口集中がさらに進んでいる。

なお、“子吉川流域の人口”の“秋田県の人口”に占める割合は概ね7%程度である。

表 3-2 子吉川流域の人口の推移と人口密度

	秋田県		子吉川流域			本荘市		
	総数 (人)	人口密度 (人/km ²)	総数 (人)	子吉川流域総人口の秋田県総人口に占める割合	人口密度 (人/km ²)	総数 (人)	本荘市総人口の子吉川流域の総数に占める割合	人口密度 (人/km ²)
昭和43年			83,453		72.0			
昭和50年	1,232,481	106.9	84,112	(6.8%)	70.9	40,488	(48.1%)	215.0
昭和55年	1,256,745	108.2	80,295	(6.4%)	67.7	42,961	(53.5%)	228.1
昭和60年	1,254,032	108.0	80,705	(6.4%)	68.0	44,326	(54.9%)	235.4
平成2年	1,238,177	106.6	80,065	(6.5%)	67.7	44,442	(55.5%)	236.0
平成7年	1,213,667	104.5	78,630	(6.5%)	66.5	45,108	(57.4%)	239.5

出典：「河川現況調査」,「秋田県勢要覧」秋田県

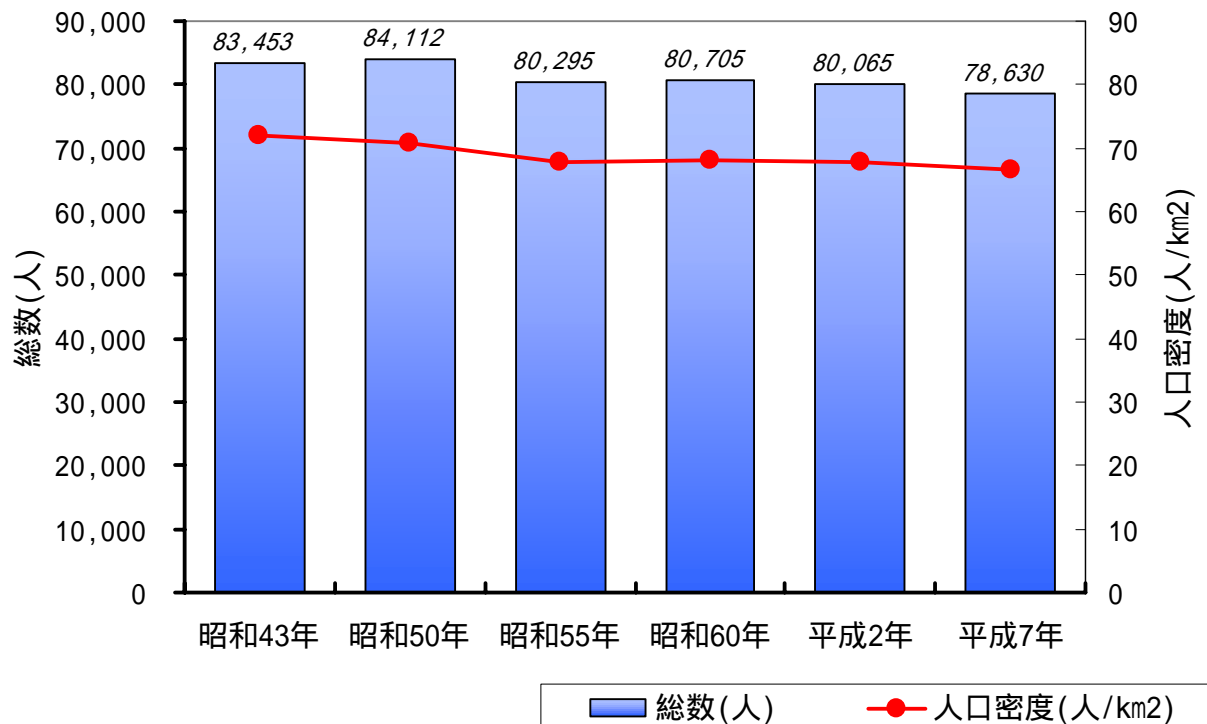


図 3-2 子吉川流域の総人口と人口密度の推移

出典：「河川現況調査」

3-3 産業経済

流域内における産業別の就業者数の構成は、人口の都市集中化に伴い昭和50年以降大きく変動した。各市町村が低開発地域工業地区、農林地域工業導入地区等の指定を受け、金属製品製造業を中心とした企業誘致が進んだ結果として、昭和50年まで大半を占めていた第一次産業の比率が激減し、第二次産業の占める比率が大きく増加している。

農業生産額についてしてみると、就業者数は減少しているものの農業生産額自体はむしろ増加しており、生産性の向上が図られた結果である。このことから、依然として子吉川流域は、秋田県有数の穀倉地帯であるといえる。

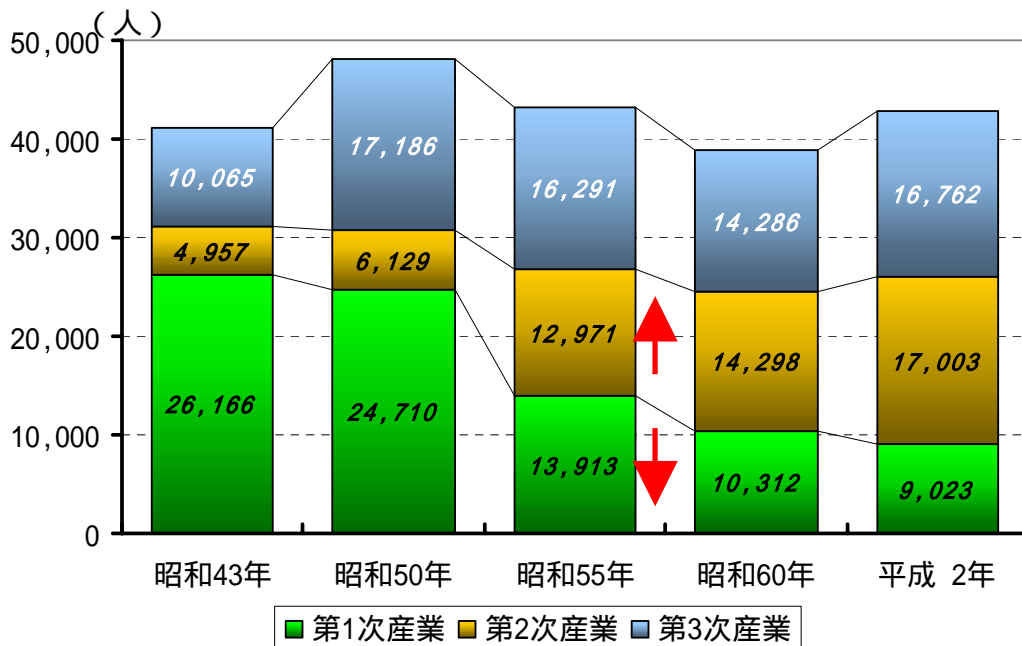


図 3-3-1 子吉川流域の産業別就業者数の推移

出典：「河川現況調査」

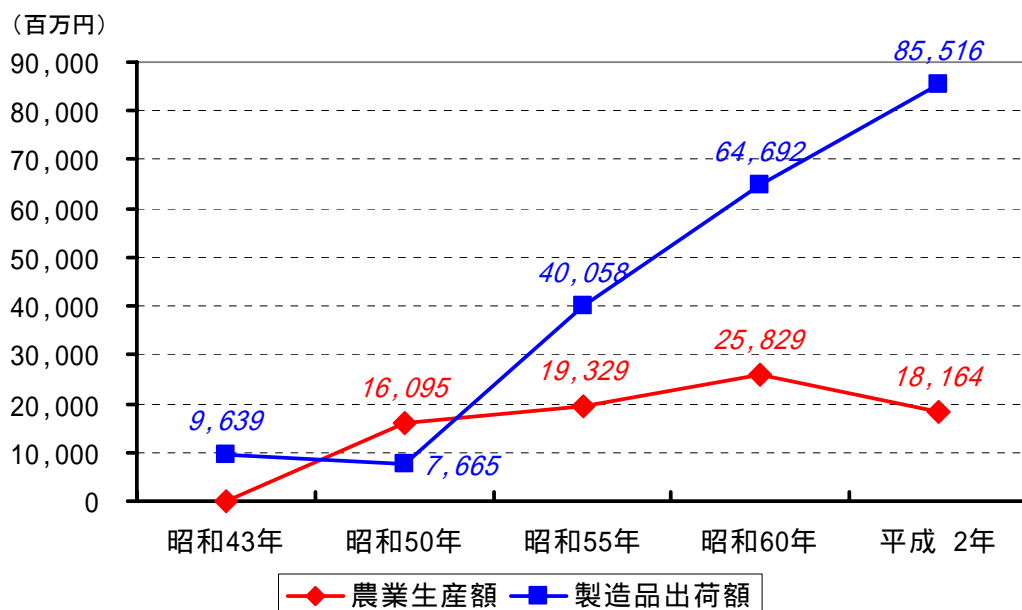


図 3-3-2 子吉川流域の農業生産額および製造品出荷額の推移

出典：「河川現況調査」

3-4 交通

子吉川流域には、JR 羽越本線、由利高原鉄道、国道 7 号、105 号、107 号、108 号等の基幹交通施設に加え、日本海沿岸東北自動車道が整備中であり、交通の要衝となっている。

JR 羽越本線は、新潟から秋田までをつなぐ鉄道路線で、大正 13 年 4 月に開通した。

由利高原鉄道 鳥海山麓線は、JR 羽後本荘駅と子吉川上流の矢島町をつなぐ全長 23.0km の鉄道路線で、昭和 12 年 12 月に開通した。

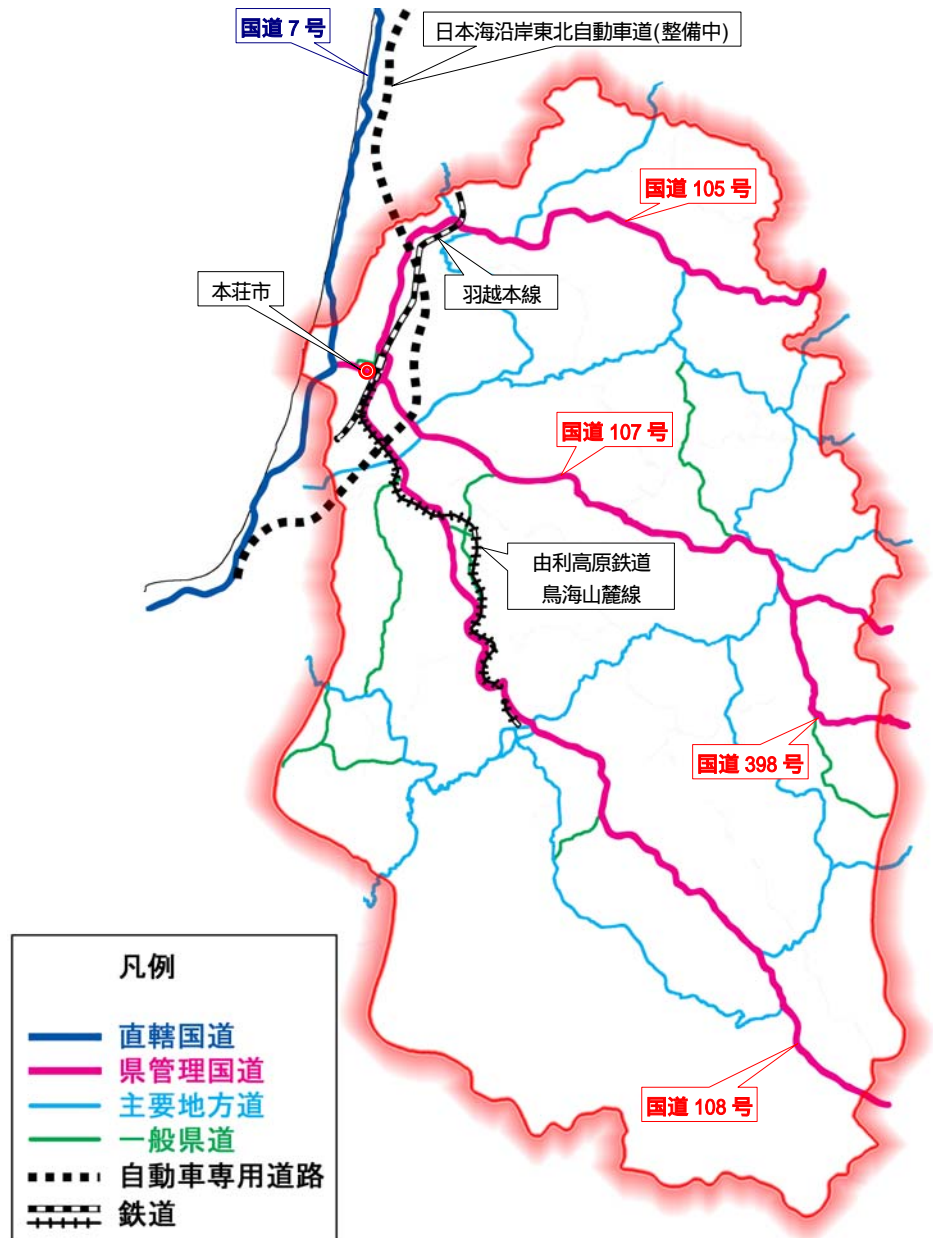


図 3-4 子吉川流域の交通網

3-5 流域の動向

秋田県では、新世紀の県政運営の指針となる「あきた 21 総合計画～時と豊かに暮らす秋田～」を平成 12 年 3 月に策定した。子吉川流域に属する本荘・由利地域では、以下のような政策が挙げられている。

地域の将来像

俳聖芭蕉が足跡を残した蚶満寺をはじめとする歴史的文化遺産と鳥海山、高原、日本海、子吉川が一体的に織りなす雄大な自然環境に恵まれ、体験・滞在型観光拠点として人々が行き交い、世界をリードする電気機械産業が集積し、県立大学を中心とした産学官連携によるハイテク技術ネットワークが構築され、環境にやさしい農林水産業が営まれる賑わいに満ちた地域づくりを目指します。

3-5-1 環鳥海連携による多彩な資源を生かした広域的周遊型観光圏の形成

山形圏、仙台圏さらには首都圏・関西圏等との交流人口の拡大を目指し、日本海沿岸東北自動車道や地域高規格道路本荘大曲道路、アクセス道路の整備促進、羽越本線の高速化など、鳥海山を中心とした秋田・山形の環状ルートの形成を図る。

隣接県等との連携のもとに、特産品の新規開発、接客接客サービスの向上、バリアフリー社会に向けた観光資源の整備など、受入体制の整備も進め、鳥海高原や農園、川、海での体験・滞在型を中心とした広域的周遊型観光を推進する。

【主要施策】

- 日本海沿岸東北自動車道の整備促進
- 地域高規格道路本荘大曲道路(国道 105 号)の整備
- 鳥海山を中心とした環状ルートを形成する国道・県道等の整備
- 羽越本線の高速化の推進
- 環鳥海地域が連携した周遊型観光の推進
- 本荘マリーナ等海洋性レクリエーション拠点の整備
- 文化遺産の保存と活用